

社 報



新人紹介

せきかわひろき
関川裕己

所属：竹島部

大阪府出身

太成学院大学高等学校

普通科卒

H7.9.21生



体力には自信があります！

体を動かすことが好きで、手に職をつけたいと思います。

よろしく願いいたします。



若者の現場離れ

自由経済の社会では、職業の選択は個人の自由であり、自由である以上、選択の責任からは逃れることはできません。

では自分自身の選択について。責任が一生つきまとうとしたら、人はどのように考えるのでしょうか。職業の選択は、その人の一生を左右するかもしれない重要な選択です。結果責任は必ず負わなければなりません。

となると、やはり安定した大企業とか公務員という選択が無難ということになります。

真面目に落ち度なく働けば、世間並か、それ以上の待遇で、安定した人生が送れる可能性が高いからです。これは若者の選択として当然の考えであると思います。

建設業の下請け企業で中小企業となれば、規模の安定もありませんし、先行きの安定も望み薄というのが、世間の評価であると思います。

しかし、若者の中でも、大企業に就職できる人は一部の限られた人で、厳しい就職戦線を突破できた人のみです。

多くの若者は、一流大企業の選択をあきらめて、就職条件を緩めて、就職先を決めていきます。

ここでも自由経済主義の原則、需要と供給のバランスが働くわけです。

一流大企業に就職しようとするれば、一流大学にも入学する必要もあるでしょうし、辛くてもしんどい勉強を頑張る必要があるのです。

でも、就職した会社で、人生のすべてが決まる訳ではありません。

一流企業に就職せずとも、職人として人生を大成させる人も、大勢いますし、就職後の、長い人生の間の努力がモノを言う訳です。

建設現場への就職は、若者から、危険・きつい・汚い、と3K職場として嫌われていると聞きます。

モノづくりのやりがいがあると言っても、数年前のリーマンショック後の不景気では職にありつけない人が多くいて、業界を去らざるを得ないような状況では、とても魅力的な職業とは言えません。

それでも、建物は建ち、腕を磨き続ける若者が職人を目指します。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

フォークリフトで人身事故

2014年4月5日(土)、当社の高山資材倉庫で人身事故が発生しました。

詳しい発生状況はわかりませんが、井上稔男さんがフォークリフトに接触、タイヤで足をひかれて、踵を骨折した模様です。

倉庫ではフォークリフトが頻繁に移動しています。運転者は当然に周囲の

状況を安全確認して運転する必要があります。また、周辺の職人さんも、自分の居場所の安全を確認して、移動なり仕事をする必要があります。

死亡災害にもつながる可能性もありますので、特に運転者は安全確認義務を忘れることなく、慎重な運転をお願いいたします。ご安全に！

2014年 安全成績

■現場災害 H26.1.1-H26.4.6

休業災害	-----	1
不休災害	-----	0
物損災害	-----	0
その他	-----	0
合計	-----	1

■交通災害 H26.1.1-H26.4.6

人身災害	-----	0
物損災害	-----	0
合計	-----	0